

## 玉川ダム融雪出水による防災操作の効果

### ～防災操作により約 119万立方<sup>メートル</sup>を貯留～

平成24年5月3日の低気圧の降雨の影響に伴う融雪出水により、玉川ダムでは防災操作を行いました。

雨は3日8時頃から降り始め、玉川ダム流域の平均累加雨量は43mmに達し、5月4日12時00分には、ダムへ流れ込む水の量が最大となり、1秒間に約221m<sup>3</sup>の水が流れ込んできました。

この時に玉川ダムでは、1秒間に約180m<sup>3</sup>の水を流すことで、流れ込む水の量の約5分の4を下流の川へ流しました。残りの約41m<sup>3</sup>の水はダムに貯留しました。

今回の洪水で玉川ダムの貯めた水の総量は、5月3日21時30分～4日13時50分までの間で約119万m<sup>3</sup>の水を貯めたこととなります。

※東京ドームに入る水に換算すると、約1.0個分を貯めた事となります。

※25mプールに入る水に換算すると、約2,380杯分を貯めた事となります。

玉川ダムでは、昨年度（H23）に11回の防災操作を行い下流河川の増水・氾濫防止に効果を発揮してきました。

今回の防災操作は、今年度1回目の防災操作となります。

<5月4日12時00分時点の防災操作>

- ・ 最大流入量 毎秒 約 221 立方<sup>メートル</sup>
- ・ 最大流入時の放流量 毎秒 約 180 立方<sup>メートル</sup>
- ・ 貯留量（調節量） 毎秒 約 41 立方<sup>メートル</sup>

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときのダムから流している水の量

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 柴田 富士男（内線：201）

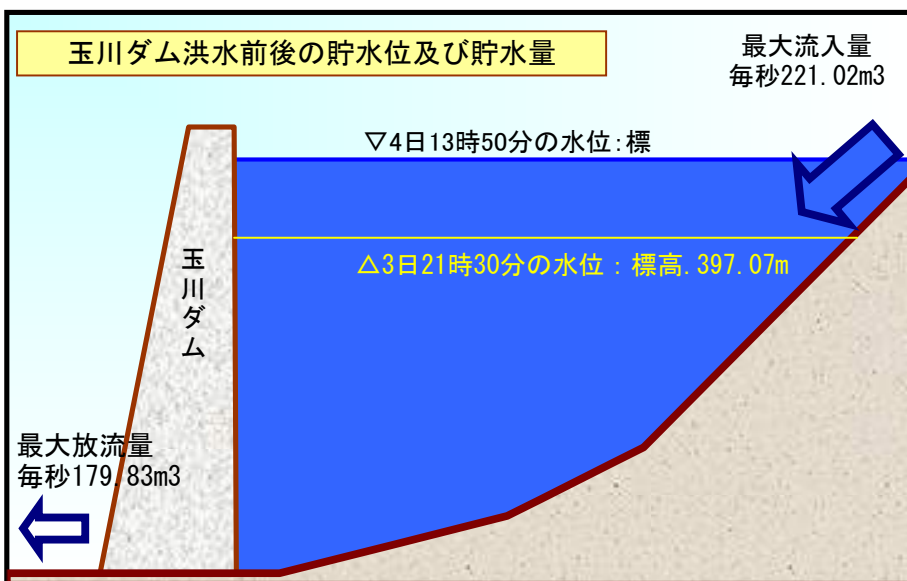
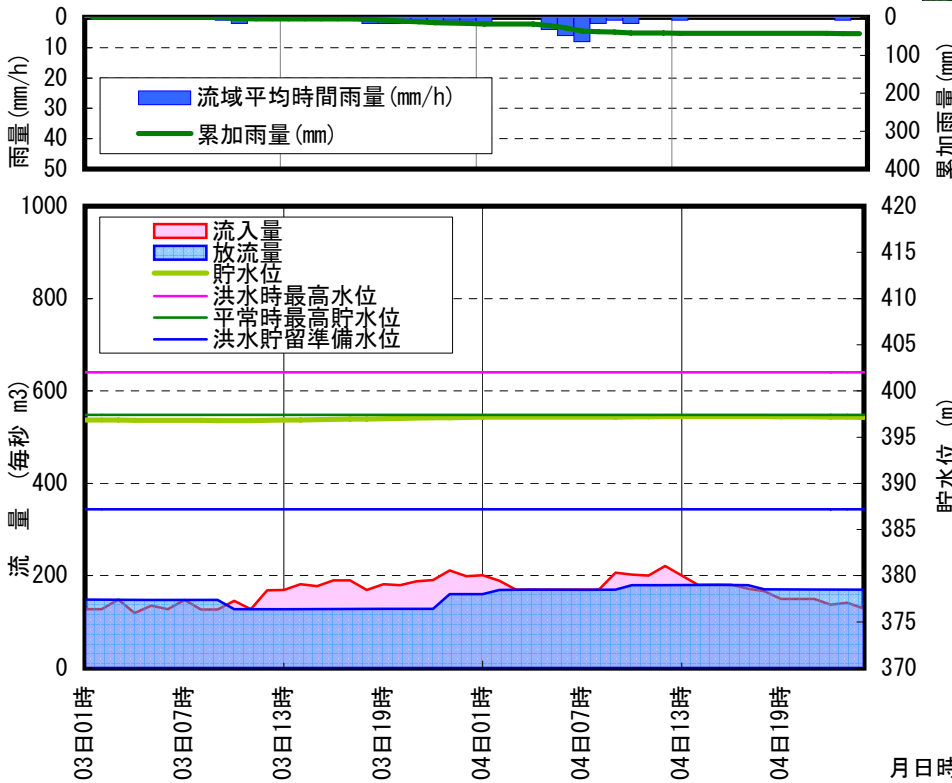
専門員（管理） 細川 朋（内線：334）

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL：0187-49-2170 / FAX：0187-49-2166

## 低気圧の降雨 による融雪出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒221.02m<sup>3</sup> (4日12時)を記録しました。3日21時30分には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m<sup>3</sup>)に達し、洪水調節を開始。約119万m<sup>3</sup>をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



約119万m<sup>3</sup>の水をダムに貯めました

これは、  
 東京ドーム 約1.0個分 (124万m<sup>3</sup>)  
 セリオン (秋田ポートタワー) 約1.8個分 (約68万m<sup>3</sup>)  
 25mプール 約2,380杯分 (約500m<sup>3</sup>)  
 に相当します